

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

● 便中カルプロテクチン (FEIA)

検査要項

| | |
|-----------|--|
| 項目コード No. | 3861 |
| 検査項目名 | 便中カルプロテクチン (FEIA) |
| 検体量/保存方法 | 糞便 / 凍結 |
| 検査方法 | FEIA |
| 所要日数 | 4~8日 |
| 基準値 | 50.0 以下 潰瘍性大腸炎の内視鏡的非活動状態のカットオフ値 300 以下 (mg/kg) |
| 検査実施料 | 276 点(「D014」自己抗体検査「27」) |
| 外部委託先 | 株式会社エスアールエル |
| 備考 | 他項目との重複依頼は避けてください。 |

受託開始日

● 平成 30 年 1 月 29 日(月)受付日分より


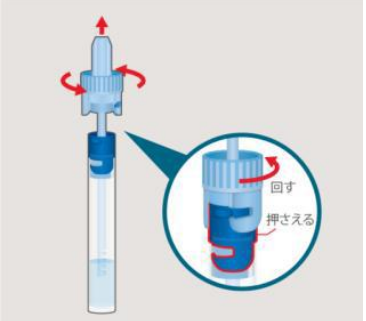
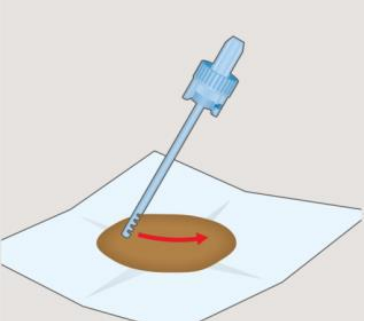
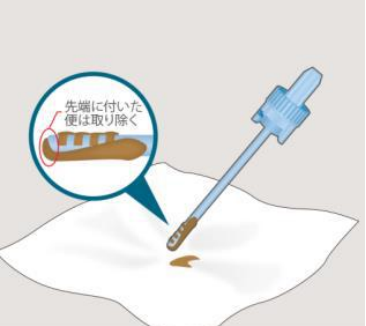
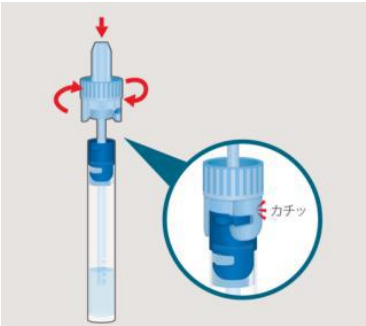
※裏面をご覧ください

■ 便中カルプロテクチン [FEIA]

※炎症性腸疾患の診断補助、潰瘍性大腸炎の病態把握に有用な腸管炎症マーカーです。

便中カルプロテクチンは、腸管の炎症度を反映する非侵襲性のマーカーです。これまで、保険適用範囲は「潰瘍性大腸炎の病態把握の補助」に限られていましたが、FEIA 法で測定した場合、「慢性的な炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病等）の診断補助」としても使用可能となりました。炎症性腸疾患が疑われる症例について腸管炎症の有無を判別することで、より効率的な内視鏡検査の実施および診断に貢献することが期待されています。

▼専用容器の取扱い方法

| 容器形態 | 検査項目 | 保存 |
|---|---|--|
|  <p>内容 トリス緩衝液 BSA アジ化ナトリウム (0.1%以下) 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 1年</p> | 便中カルプロテクチン[FEIA] | 凍結 |
| | 採取方法 | |
| |  <p>1. キャップの青色部分を押さえながら、その上の水色部分を左に回し、スティックを引き抜きます。</p> |  <p>2. スティック先端の4つの溝が、十分に埋まるように便をこすり取ります。</p> |
| |  <p>3. スティックの先端についた便をトイレットペーパー等で取り除きます。</p> |  <p>4. スティックを容器に差し込み、キャップの水色部分にカチッとはまるまで右に回します。</p> |
| <p>●注意事項 容器中の保存液が、目や口に入ったり皮膚に付着したりしないようご注意ください。誤って付着した場合は水で十分に洗い流してください。</p> | | |

●参考文献 松岡克善, 他:医学と薬学 74(6) :717~726, 2017. (臨床的意義参考文献)